



われわれ青年経営者で次代に誇れる豊かな世界を創ろう!

第49回 青年経営者全国交流会 from 岐阜

日本(ヒノモト)の 中心へ集え、 麒麟児よ!

— 理念経営を貫くことが
未来を切り拓く —

2021年

9月9日(木) ONLINE 開催

Open 12:30 / Start 13:00~19:30

会費 3,000円

主催

中小企業家同友会全国協議会

〒102-0074

東京都千代田区九段南4-7-16 市ヶ谷KTビル3F

TEL.03-5215-0877 FAX.03-5215-0878

<https://www.doyu.jp/>

設 営

岐阜県中小企業家同友会

〒500-8259

岐阜県岐阜市水主町1-176-2 ピースランドビル3F

TEL.058-273-2182 FAX.058-274-8798

<http://www.gifudoyu.jp/>

第1分科会 **中同協** 企業づくりと青年部活動は不離一体



パネリスト

建都住宅販売株式会社
取締役 経営改善室室長 三輪 幸徳 氏

設立 1984年
資本金 4,500万円
売上 25億円
社員数 55名
事業内容 不動産売買仲介、新築戸建・マンションの分譲、リフォーム工事
URL <https://www.kento.co.jp/>



パネリスト

フジエダ珈琲株式会社
代表取締役社長 藤枝 一典 氏

設立 1945年
資本金 2,000万円
売上 4.5億円
社員数 16名
事業内容 珈琲加工製造、業務商材卸売、小売販売
URL <https://fujieda-coffee.co.jp/>

学びを体現する次世代リーダーとして全人格的成長を遂げよう
～青年部活動と企業経営は不離一体～



パネリスト

門金属株式会社
代表取締役 門 高志 氏

設立 2014年
資本金 100万円
売上 8,300万円
社員数 10名
事業内容 金属プレス加工



コーディネーター

株式会社ランドマーク
代表取締役 檜内 健二 氏

設立 1988年
資本金 1,000万円
売上 4,000万円
社員数 8名
事業内容 損害保険4社・生命保険9社を取扱う総合保険代理店
URL https://peraichi.com/landing_pages/view/landmark

中同協青年部連絡会では2020年「われわれ青年経営者で次代に誇れる豊かな世界を創ろう!」と2030VISIONを発表しました。次世代のリーダーとして「学びを実践する」から「学びを体現する」へ、そして「全人格的成長」は「目指す」から「遂げよう」とステップアップしています。青年部活動と企業経営を不離一体として取り組む実践を学び合います。

第2分科会 **中同協** 世界とつながる(海外展開・国際化)

報告者

株式会社Honki
代表取締役 石川 朋之 氏

設立 2010年
資本金 300万円
売上 1億8,500万円
社員数 12名
事業内容 採用コンサルティング、企業研修/制度設計など
URL <https://honki.co.jp/>



2020年に発表した2030VISIONでは「本気本音で関わる仲間を地域に増やし世界とつながろう」を掲げています。石川氏は、国内での事業のほかにアラブ首長国連邦での飲食事業やジャパンブランドの輸出、ベトナムではオフショア開発などを手掛けています。本分科会では、石川氏の実践とアドバイザーの黒瀬氏による報告から中小企業の海外展開や市場の可能性について学び合います。

世界中の人々がFanになる企業グループをめざして
～世界とつながり日本の元気をつくりだす～

アドバイザー

NPO法人アジア中小企業協力機構
理事長 黒瀬 直宏 氏

設立 2017年
事業内容 アジア各国の中小企業経営者に学習の場を提供する事業
アジア各国の中小企業間事業連携を推進する事業
アジア各国政府へ中小企業政策を提言する事業
URL <https://sites.google.com/view/icoso2017/icoso>



第3分科会 **千葉** 経営者の全人格的成長 (学びの体現をめざす経営者)

あなたは誰と関わり何を成しますか?
～嫌よ嫌よも学びの始まり～

今でこそ経営の多角化をしていますが、同友会入会当初のメイン事業は一つで、自らも現場に出る「プレイングマネージャー」でした。しかし、参加する中で様々な経営者と出会い、刺激を受け、組織づくりのシステム経営を取り入れ、新規事業に取り組み、会社としても経営者としても大きく成長していきます。社長が外に出なくては「会社は広がらない、成長しない」と話す大矢氏による成長の実践報告です。

報告者

Jl-TECH株式会社
取締役 大矢 昌志 氏

設立 2013年
資本金 300万円
売上 1億6,000万円(関連企業全体:5億2千万円)
社員数 35名(関連企業全体:110名)
事業内容 建設業



第4分科会 **滋賀** 人を生かす経営の実践

経営者の反省と決意が組織を変える
～チームで成果を掴む仕組みづくり～

18歳で創業。自分のために働き、経営を続けていると仕事に追われ、社員は疲弊。このままではと2010年同友会へ入会。翌年に経営指針を創る会を受講し、実践へ。しかし、社員は定着せず空回り。数々の失敗と同友会の学びが七黒氏に変化を起こします。働く仲間の為の経営に徹し、本業を成長させ、新事業も想像以上の成果を残すことに。自己を変革させ、成果を掴み取った実践を報告します。

報告者

株式会社七黒
代表取締役 七黒 幸太郎 氏

設立 2003年
資本金 500万円
売上 2億9,000万円
社員数 25名
事業内容 仮設足場事業・アパレルEC事業
URL <https://kk-shichikuro.com/>



第5分科会 **福岡** 経営指針の実践

考えるな、動け。
～行動が思いに、思いが実践に～

創業と同時に同友会に入会。経営指針作成セミナーに参加し経営指針書を作成するも腑に落ちない。しかし、青年部代表等の経験を経て、魂のこもった経営指針書が完成する。溢れる思いが実践に繋がっていく! 経営指針書ができない、どう実践していいかわからないと悩んでいる経営者の解決のきっかけとなる報告をいたします。

報告者

輝翔法律事務所
所長 林 直輝 氏

設立 2012年
売上 9,000万円
社員数 11名
事業内容 土業のワンストップサービス(弁護士、税理士、司法書士、社会保険労務士、行政書士)
URL <https://kisho-law.jp/>



第6分科会 福島 10年ビジョン・視座を高める

「ボロ屋」「クズ屋」に未来はあるのか?

～ビジョンを掲げ幸せの実現を!～

子供の頃、周りから「ボロ屋」「クズ屋」と呼ばれていた荒川産業(株)に父親の説得により入社。同友会に入会して経営指針を学び、自社の事業定義は「地域資源発掘業」「地域課題解決業」であると『世紀の大発見!』をします。何の為に経営しているのか突き詰め「ふるさと循環型リサイクル～地元へ元気のサイクルを」のビジョンを掲げ10年後の自社、地域を元気にする取り組みを進めています。

報告者

荒川産業株式会社

代表取締役社長 荒川 健吉 氏

設立 1893年
資本金 2,200万円
売上 30億円
社員数 230名
事業内容 産業廃棄物処理・リサイクルを中心としたライフサイクル業
URL <https://amarc.co.jp/>



第7分科会 徳島 共に育つ・共に生きる

生産への情熱と経営への執念

～経営指針成文化はゴールではない～

農家ソムリエずは、さつまいも農家6軒で設立した法人です。2018年の経営指針成文化以降、メディア露出が増える反面、情熱を仲間へ伝えずに突き進む藤原氏と、実利の伴わない経営に疑問を感じる木元氏他4名の役員との間で空中分解寸前でした。青空交での報告をきっかけに、本気本音でぶつかり、2人に経営への執念が芽生えます。それぞれの立場で、苦悩や今の想いを包み隠さず報告します。

報告者

株式会社農家ソムリエず

代表取締役 藤原 俊茂 氏

取締役 木元 彰彦 氏

設立 2014年
資本金 150万円
売上 8,000万円
社員数 6名
事業内容 青果物の販売、加工品の製造及び販売
URL <https://www.narutokintoki.com/>



第8分科会 東京 多様性を生かす

誰もが働きやすい社会を

～若者の働く不安と向き合う～

児童養護施設出身者の若者の社会進出をサポートする中で「自己責任で片付けられない=自分ではどうしようもない境遇の若者」が厳しい現実と対峙。社会の中で「小さな成功体験」と「人との関わり」を通して変わっていく事を目指し就労後の定着率95%まで高めました。また自分自身も社員との関係に悩み青年部に参加、経営指針にも挑戦。共感で結ばれ、自走する組織を目指しています。

報告者

ボーダレスキャリア株式会社

代表取締役 高橋 大和 氏

設立 2017年
資本金 2,000万円
売上 3,000万円
社員数 4名
事業内容 若者専門の人材紹介業、定着サポート業
URL <https://step-shushoku.jp/>



第9分科会 石川 人が輝く企業づくり

人が輝く企業づくり

～社員が輝くのは会社だけですか?～

前職はバレーボール選手、当たり前だった厳しい勝負の世界。引退後に帰省した会社の第一印象はぬるい組織。大型案件を連続受注し変革を強行するも社員の環境を考慮せず退職者が続出します。苦悩する日々の中経営指針や全国の経営者との出会い、反省と感謝を経て気づいた「誰の為にやるのか」「その為に自分でやりたい事とは」。働き甲斐ある会社業界No.1を目指す経営報告です。

報告者

株式会社タムラテント

代表取締役社長 田村 裕之 氏

設立 1953年
資本金 4,000万円
売上 2億1,500万円
社員数 27名
事業内容 帆布製品の製造・施工業
URL <https://tamurament.com/>



第10分科会 岐阜 地域が輝く企業づくり I

思わず人が集まる企業・地域を目指して

～輝くトコロには人が集まる!～

大学休学中にたった一人で創業し、「気合・根性・情熱」があればやっていると信じていたが、場当たりの採用による苦い経験やNo.2の退職を乗り越え、同友会での学びから地域のエネルギーベンチャーとしてのビジョンを描き挑戦を続けている。その根本にあるのは、生まれ育った地域に恩返しをしたいという想い。自然と人が集まる様な輝く企業が、地域の活性化に貢献する循環をめざした報告をします。

報告者

株式会社エネファント

代表取締役 磯崎 顕三 氏

設立 2011年
資本金 3,000万円
売上 8億2,500万円
社員数 17名
事業内容 エネルギー商材の販売・施工および小売電気事業
URL <https://enephant.co.jp/>



第11分科会 宮城 地域が輝く企業づくり II

危機において本業を深める

～事業の再定義と10年ビジョン～

新型コロナウイルス感染症の拡大はフィットネス業界にとって大きなダメージを与えました。佐藤氏は2014年に経営指針を成文化後、「先代との関係づくり」「10年ビジョンから創造する新たな仕事づくり」「社員を主役にする会社づくり」「同業他社との連携」など、様々な視点から思直に実践し続けてきました。自社事業を「総合健康サポート業」と定義した視点と10年ビジョンに掲げた「スイミング、フィットネス業界の枠にとらわれない新たな業態を広げる健康に関する総合事業の構築=健康=健康(健康かな幸せ)発信企業を目指す」という視点から「本業を深めること」を学び合います。

報告者

株式会社ライブスポーツ

代表取締役 佐藤 大介 氏

設立 1985年
資本金 1,250万円
売上 3億5,000万円
社員数 70名
事業内容 フィットネスクラブ、スイミングクラブの運営
URL <http://www.livesports-swim.jp/>



第12分科会 群馬 付加価値を高める

付加価値発生の源となれ!

～中小企業が主役になる時代～

上場企業から経営難の家業を再建するために27歳で同社へ入社するも、旧態依然とした末端の下請け製造業の未来に希望を感じられずにいました。「この先、社会に必要な会社とは?」を自問自答し、既存の業種概念に捉われない多様な活動と異業種連携を展開。それらの経験で直面した課題を解決し、新たな価値を創造し続ける山崎氏の報告から、変化が著しい時代、中小企業にこそ必要な付加価値を考え、高め合います。

報告者

有限会社山崎製作所

代表取締役 山崎 将臣 氏

設立 1957年
資本金 500万円
売上 1億2,000万円
社員数 14名
事業内容 鋼板や鋼材の加工を行う精密板金加工と工業デザイン事業
URL <https://e-bankin.com/>



第13分科会 広島 差別化を図る(下請け企業など)

夢が紡いだ“革命”戦略 ～挑戦の炎が巻き起こす上昇気流～

世界中から観光客が来るような革屋になるという夢を掲げて、革に新たな命を吹き込んでいる三島氏。数々の挑戦によって練り上げられた自社の経営理念。自身の強い想いが、気づけば社員やお客さんに伝播し、地元広島の活性化に向けた戦略が動き出す。福山レザー、日本一の鞆、そして想いは“日本レザー”へ。これまでのメディア出演回数は35回。情熱と行動力で突き進む、熱き漢の発表です。

第14分科会 北海道 市場と雇用の創造など I

3千人の町から世界最高の牛乳を ～スマート酪農が地域を救う～

北海道北部に位置する人口3千人の街・天塩町に根を下ろす宇野牧場。小さな街の小さな牧場を受け継いだ宇野氏は、従来の酪農の常識を打ち破るべく奮闘します。「無理だ、できるわけがない」などの否定的な声や経営難に負けず、自分の目指す酪農に向かって邁進する日々。目指すは「天塩町産・世界最高峰のミルク!」そして現在世界中から高い評価を得ている宇野牧場の次なる目標とは。

第15分科会 兵庫 市場と雇用の創造など II

コロナ禍で見出した活路 ～結果は選択できないが、行動は選択できる～

1979年に創業した「かつ井吉兵衛」創業者である父親の思いを引き継ぎ、2010年に法人組織化し多店舗展開を始めた上林氏。2020年のコロナ禍において、既存の飲食店事業に加えて新しい飲食店のカタチとして、パーチャレストラン事業を開始しました。外部環境に左右されながらも、時代に即したカタチを模索し、結果は選択できないが、行動は選択できると胸に刻み、挑戦し続ける報告です。

第16分科会 愛知 本気本音で関わる I

変革し挑戦する企業へ ～人間尊重経営から生まれた新たな企業風土～

柴田氏は28歳で独立。社員も入り何事にも全力でぶつかり走ってきましたが、誰一人ついて来ませんでした。同友会に入会し、様々な役を受け、多くの事を学ぶことで、自身の考え方や言動に変化が生まれます。社員の人生と本気で向き合い始めたことが社員の安心感につながり、未来に希望を感じる事で、積極的に挑戦する風土が生まれました。柴田氏の考える人間尊重経営について不離一体の実践報告です。

第17分科会 宮崎 本気本音で関わる II

同友会でかみ合った本気本音で関わる経営 ～超高速不離一体PDCA～

会社を選んだきっかけは「家から近かったから」。社長になった理由は「持ちかけられたから」。そして同友会入会のきっかけは「プレジデントに載ってたから」。勇猛果敢で猪突猛進な迎氏。その本気本音の思いの強さがかみ合わず、社内では様々なトラブルを招きます。3年前、同友会に出会い「不離一体経営」を実践することで、社員数は2倍、売上は1.6倍、経常利益44倍になりました。

第18分科会 和歌山 事業承継・後継者問題など

三代目としての会社づくり ～仕事を作る姿勢と行動～

現在、株式会社おかい商店の三代目として事業承継の真つただ中。今回の分科会のポイントは、3つあります。①事業承継の最中に気づいた、自身のあるべき言動、②社員・先代との関わり方、③仕事を作る姿勢とその行動です。現在、事業承継にかかわっておられる方はもちろんですが、事業承継にかかわっていない方も含め学び合います。

第19分科会 岩手 震災から10年

どんな環境でも、決して繋いだ手を離さない ～気仙支部の東日本大震災から10年の軌跡～

200年続く味噌醤油醸造業の9代目として入社、同友会と出会い経営指針セミナーでの同期の言葉をきっかけに、社員とともに成長する会社をめざし歩み出します。その矢先に起きた東日本大震災。社屋工場、そして街並みをもすべて失いました。そんな絶望の淵でも歩みを止めず、前進することができたのはなぜか。繋いだ手を決して離さない。経営者として、そして一人の人間としての関わり合いの姿に学びます。

報告者

株式会社サード
代表取締役 三島 進 氏

設立 2011年
資本金 300万円
売上 5,200万円
社員数 6名
事業内容 革製品の製造・卸・小売販売、オーダーメイド
URL <https://leatherstudio.jp/>



報告者

株式会社宇野牧場
代表取締役 宇野 剛司 氏

設立 1945年
資本金 5,000万円
売上 8,000万円
社員数 3名
事業内容 酪農業、乳製品加工業
URL <https://unomilk.jp/>



報告者

株式会社吉兵衛
代表取締役 上林 守 氏

設立 1979年
資本金 300万円
売上 9億7,700万円
社員数 93名
事業内容 かつ井専門店
URL <https://www.yoshibeico.jp/>



報告者

株式会社JT
代表取締役 柴田 潤 氏

設立 2015年
資本金 500万円
売上 4億円
社員数 17名
事業内容 サイディング工事、コーキング工事、シーリング工事など
URL <https://jt-company.info/>



報告者

株式会社南九州みかど
代表取締役 迎 敦雄 氏

設立 1978年
資本金 3,000万円
売上 3億9,700万円
社員数 30名
事業内容 建設業(交通安全施設・橋梁補修)
URL <http://www.mikado-kk.jp/>



報告者

株式会社おかい商店
代表取締役社長 岡井 良樹 氏

設立 1962年
資本金 1,450万円
売上 3億3,800万円
社員数 14名
事業内容 農業生産資材、水道管工機材等卸売業・福祉用具販売など
URL <https://okai-shoten.com/>



報告者

株式会社八木澤商店
代表取締役 河野 通洋 氏

設立 1960年
資本金 1,000万円
売上 2億5,000万円
社員数 37名
事業内容 味噌醤油醸造業
URL <https://www.yagisawa-s.co.jp/>



真面目な人が活躍できる未来への挑戦 ～貧困なき社会の実現に向けて～



Global Mobility Service 株式会社
代表取締役社長兼CEO なかしま とくし 中島 徳至 氏

企業概要

<https://www.global-mobility-service.com/>

設立：2013年11月

資本金：28億1,122万円

社員数：約270名(うち日本人50名)

業務内容：「Fintech×IoT」で誰もが車を買える仕組みの提供

「真面目に働く人が正しく評価される仕組みをつくる」

IoT技術を活用したFinTechサービスにより、誰もが「真面目に働く」を可視化することで、金融サービスを受けられモビリティを所有することで、豊かな暮らしを手に入れられる仕組みを実現し、貧困をなくしていくというビジョンのもと、貧困という社会課題に向き合い解決する中で、経済合理性の創出に取り組んでみえます。

講師プロフィール

1967年1月1日、岐阜県下呂市金山町出身。東京理科大学大学院修了、MOT取得。岐阜大学大学院・工学研究科客員教授。2011年4月から東京大学大学院工学系研究科・非常勤講師。2012年4月から岐阜大学未来型太陽光発電システム研究センターアドバイザー。世界最大の電気自動車普及国として期待されるASEAN諸国にて、電気自動車の事業開発を行い、発展途上国の環境改善と産業発展に寄与したいと考え活動しています。1994年に「ゼロスポーツ」を設立。富士重工業向けの自動車部品500品目を独自開発して、日本国内7000店舗、海外10カ国で販売実績を上げた後、15年前より電気自動車開発を始め、現在までに30車種以上の電気自動車開発に携わってきました。

現在は黎明期といわれるなか、電気自動車普及のために業界団体や行政機関にて様々な公職を担当しています。大手自動車メーカーなど350社が加盟する、電気自動車普及協議会(APEV)において初代表幹事を務め、産業政策の観点からも電気自動車の普及へ向けて精力的に活動してきました。

これまでの主な公職:日本自動車マフラー協会会長、(財)日本自動車研究所評議員、経済産業省電池と自動車に関する検討会委員、(社)蓄電型地域交通推進協会理事、電気自動車普及協議会代表幹事。

これまでの主な受賞歴:経済産業省「経済産業大臣奨励賞」受賞、(社)日本青年会議所「人間力大賞」受賞、国際青年会議所JCI「TOYP大賞」受賞(The Outstanding Young Person of the World)、各務原市産業功労賞受賞、環境省「大気環境保全活動功労者」表彰。

実行委員長あいさつ

今、世界は時代の大きな変化の渦中にいます。

その中で我々中小企業家は、会社を維持、発展させるため、経営の方向を模索し、時代に対応出来るかが試されています。

「やり方」を変え続ける中で、変えてはいけぬもの。それは「あり方」、経営理念ではないでしょうか。どんな状況になろうとも、変わらず理念を貫き通す強い信念、覚悟が必要だと思います。この時代を好機と捉え、実践・挑戦している数多くの報告者が全国から集まりました。

熱い思いを持った経営者と考えをぶつけあい、日常では得ることの出来ない学び、気づきの場にするため、岐阜同友会一丸となり設営してまいります。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



第49回青年経営者全国交流会from岐阜

実行委員長 野々村 将任

日本いぶし瓦 株式会社 専務取締役

われわれ青年経営者で次代に誇れる豊かな世界を創ろう!

- 1.学びを体現する次世代リーダーとして全人格的成長を遂げよう。
- 2.多様性を生かし人と地域が輝く企業をつくろう。
- 3.本気本音で関わる仲間を地域に増やし世界とつながろう。

開催概要

日 時	2021年9月9日(木) 12:30(開場) 13:00(開会)ー19:30(閉会)	12:30～オンライン受付 13:00～16:15 分科会 17:00～19:30 記念講演&全体会
会 場	オンライン開催	
会 費	3,000円 ※消費税法基本通達5-5-7に該当する共同行事のため課税仕入れにはしないようにお願いします。	
参加申込	所属の同友会事務局へお申込ください。	
申込締切	8月26日(木) ※8月27日(金)以降のキャンセルは会費全額をご負担いただきます。ご了承ください。	

スケジュール

開催意義

- ①2030VISIONを広め、全国の青年経営者の志を結集し、次代に誇れる豊かな世界を創っていく場とする。
- ②学びを体現する次世代リーダーとして、全人格的成長を遂げる学び合い活動を行う場とする。
- ③多様性を生かし人と地域が輝く企業づくりの実践を、分科会やグループ討論で交流する場とする。
- ④本気本音で関わる仲間を地域に増やし、世界とつながる取り組みを交流する場とする。

スローガンについて

岐阜という地は、日本のほぼ中心に位置し、歴史的にも壬申の乱や関ヶ原の戦いなど日本の未来を大きく変える天下分け目の地であります。そして今、100年に1度とも言われる大きな外部環境の変化が訪れています。この変化は、今までの常識・価値観を根底から覆すものであり、思考や概念・社会ルールが移り変わるパラダイムシフトの時となっているのではないのでしょうか。

この混沌とした時代の中でも我々同友会会員は、労使見解を体現し理念経営を貫く強い信念と覚悟を持って、経営を維持・発展させていかななくてはなりません。

麒麟児とは、「優れた才能を持ち将来が期待される若者」という意味があります。今こそ日本(ヒノモト)の中心である岐阜の地に麒麟児を集め、同友会理念を貫き通す強い意志を共有し、輝かしい未来を切り拓きたい、という思いをスローガンに込めさせていただきました。

参加申込書

第49回青年経営者全国交流会

申込締切:8月26日(木)

※8月27日(金)以降のキャンセルは会費全額をご負担いただきます。ご了承ください。

企業名		役職			
フリガナ		希望 分科会	第1希望	第2希望	グループ長
氏名			第 分科会	第 分科会	できる できない

※お申込は所属同友会事務局までお願いします。参加人数の関係などで第2希望の分科会になる場合もございます。ご了承ください。

※本登録内容は行事設営のために中同協管理のもと参加者名簿等に活用し、それ以外に使用することはありません。

※本行事の様態を撮影・録音し、記録されたものを印刷物やインターネット上で公開させていただくことがあります。参加者の皆さんの顔写真が掲載されることがありますので、不都合がございましたら所属同友会事務局までご連絡ください。